

# 観光案内に新たな視点

## 松山大学生 ガイドマップを製作



製作したガイドマップを観光客に手渡す松山大の学生(左)

松山市や周辺地域を巡る際に携えてもらおうと、松山大の学生が観光ガイドマップ「いたびくるたび松山通(つつ)」(A5判88ページ)を製作し、13日、同市大街道3丁目の松山城山ロープウェイ駅に贈呈した。

「類似情報を使わない」「類似情報を掲載」といったこれまでの観光案内書の問題点を1年半かけて洗い出し、同市を中心に飲食店や史跡などを取材。独自の観光コースや交通情報を盛り込み、撮影した写真を貼り付

けるページも設けた。

松山大が事業費を負担。初版は千部刊行、増刷も決定した。JRや伊予鉄道の駅、空港などで配布予定。経営学部4年井上雄太さん(21)は「新しい魅力を発見してもらえるはず」と語る。

13日は、ロープウェイ駅舎で学生5人が松山城総合事務所の牧野

典幸副所長にガイドマップを寄贈。観光客に内容を紹介しながら、松山城のマスケットキヤラクター「よしあきくん」とガイドマップを配った。新潟市の主婦今井春美さん(58)は「大学生が作ったと思えないほどきれいで見やすい。写真も貼って残したい」と喜んでいった。(竹下世成)

経営学部などの約30人が「観光が終わると